

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とねりこクラブ				公表日	2025年 3月 24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	広い部屋と静かに過ごせる小さい部屋があり、気持ちを落ち着かせるときに使用している。一人ひとりの特性を理解し、子どもたちに合わせた対応をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	スタッフ間でスケジュールと人数を調整している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	手洗いや荷物棚、出席シール貼りまでの流れに①～④まで番号をつけルートを示している。荷物を置く場所、おもちゃの場所など、分かりやすく分けて配置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	棚にはキャスターがついており、活動に合わせて移動ができるようにしている。毎日掃除している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	小型のテント等を準備し、クールダウンができる場所を設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	業務の前と後でミーティングを行う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者勉強会や個別面談を実施しているのでニーズはしっかりひろいあげている。保護者勉強会での意見を活動内容に取り入れる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	ミーティングを定期的に行う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	外部評価は行ったことはない。利用者、保護者、院長、副院長などによる評価。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	福岡市から通達があった研修に参加したり、所内でも研修を実施している。研修の時間を確保している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	SNS、院内掲示を活用している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	日々の子どもの様子や保護者からのニーズをもとに作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	スタッフミーティングで子どもの状況は確認・検討している。管理責任者が適宜、他スタッフに共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	スタッフミーティングで共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	適宜Vineland-IIを活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	地域支援、地域連携は検討中。本人への支援と、その保護者への支援の計画を具体的に立てている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	主にその日のリーダーが活動プログラムを立案するが、実施前のミーティングを実施し、その際にスタッフ全員で検討する。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	ゲーム要素など楽しめるようにしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	その活動においてリーダーを決め、リーダーによる指導案作成・役割分担が実施されている。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	後日になる時もある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	そこで出た課題を次の活動内容に取り入れたりしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	自由遊びの時間はコーナーを設定し、選択できるようにしている。子どもたちの話し合いで何をするか決める機会も作っている。自由遊びの時間は、自分で考え行動する時間にしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	管理者・児発管が参加している。担当者会議の出席。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	おおやこどもクリニックが協力医療機関として、支援をする。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2	送迎を行っていないので密に連絡は取っていない。ケース会議の際お互いに情報交換している。	学校や教育委員会のホームページを定期的に閲覧し、行事予定等について把握を行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	書類の提出をお願いしている。学校や他の地域施設との交流はない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		これまで行っていない。今後移行について、システムを検討していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		児童発達支援センターと連携を行うシステムを検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		地域の他のこどもと交流できるように、公園への外出の機会を設けていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	協議会が15:00-のことが多く、スケジュールが合わず参加できていない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	活動記録・ペアトレで伝えている。子どもの活動の様子を保護者と共有する。保護者勉強会を実施。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	ペアトレでは特に土曜日は母だけでなく、父にも参加してもらい勉強する機会を作っている。活動を行った日は、必ずペアトレを行う。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	個別に説明を行う。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	個別に時間を取り行う。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	1か月に1回個別面談を実施。心理士との面談をする。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者勉強会で交流する機会があります。きょうだいについてはイベントに招待することを検討中。ペアトレで保護者同士の交流をしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	活動内容が分かる様なものをアップしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	カギをかけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		事業所の行事について、地域の公民館と連携を持って行く。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	子どもたちと一緒に訓練している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	子どもたちと一緒に訓練している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	薬の内容やてんかん発作しやすい状況を把握。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	入所時に確認し、アレルギーのある子については対応方法を確認している。 医師に聞き、対応する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	契約の際に説明する。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	契約の際に説明する。	施設内の掲示等を利用する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	研修を行っている。	ヒヤリハットについて、研修の際に具体的な事例を用いて、再発防止について検討する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	スタッフミーティングの中で研修実施。 研修を行って、対応を考える機会がある。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	契約する際に、説明する。		